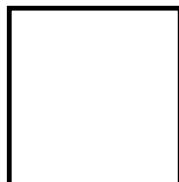


【RM財務格付】

2010/3期



【RM財務格付定義】

財務内容は良好です。  
 財務内容は概ね良好です。  
 財務内容にやや懸念があります。  
 財務内容に大きな懸念があります。

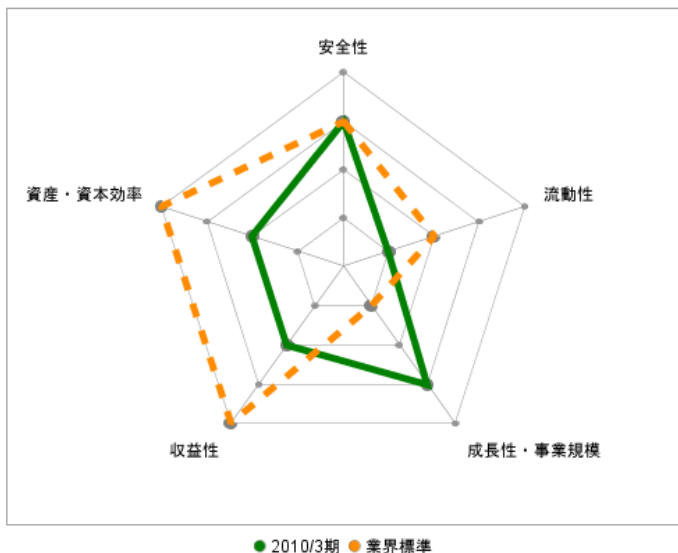
【想定倒産確率】

- ... 0.1%
- ... 0.5%
- ... 1.5%
- ... 3.0%

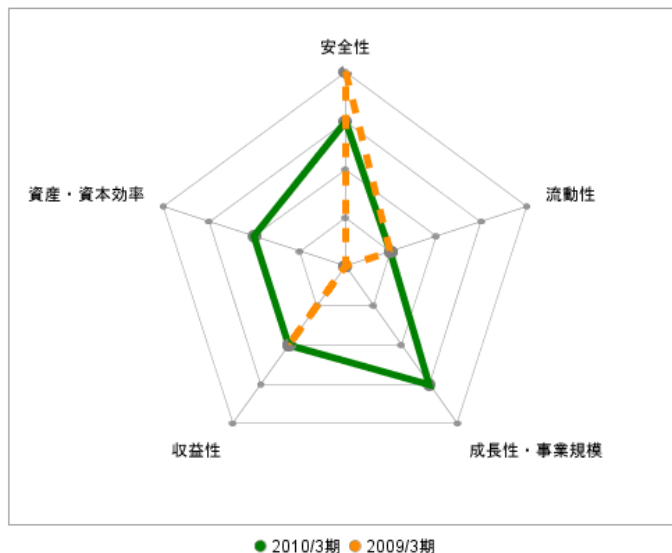
【RM財務格付履歴】

2010/3期	2009/3期	2008/3期	2007/10期
2007/3期	2006/9期	-	-
		-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



<b>安全性</b>	2010/3期	
	2009/3期	
自己資本比率		
実質自己資本比率		
借入金利率		
借入返済年数		

<b>流動性</b>	2010/3期	
	2009/3期	
流動比率		
当座比率		
現預金回転期間		
手形割引率		

<b>収益性</b>	2010/3期	
	2009/3期	
売上高経常利益率		
経常収支比率		
ROA(総資産利益率)		

<b>成長性・事業規模</b>	2010/3期	
	2009/3期	
売上高増減率		
売上高規模		
経常利益増減率		

<b>資産・資本効率</b>	2010/3期	
	2009/3期	
売掛債権回転期間		
棚卸資産回転期間		
総資産回転率		

実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除したうえで算出した自己資本比率です。  
 (良い) ~ (悪い)にて表示しています。  
 が表示されない項目は、評価対象外です。  
 評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

<b>総合評価</b>	財政状態にやや懸念があり、財務基盤が脆弱です。懸念点をを確認し、実態の把握をしましょう。
安全性	借入償還能力は高くありませんが、資本調達力を有しているため、安定した資金繰りが見込まれます。
流動性	当座資産及び資金調達力がともに乏しいため、決済能力に警戒が必要です。
収益性	事業による現金創出力を一応有しているものの、利益効率に懸念があるため、収益力にやや不安があります。
成長性・事業規模	収益力は十分ではないものの、一定水準の売上規模を有しており、相応の収益基盤を維持しています。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。